

第5回「大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会」

議事要旨

1 日時 平成28年6月3日（金）14:00～16:00

2 場所 総務省 第3特別会議室

3 出席者

(1) 構成員

石井正座長代理、東構成員、有賀構成員、石井正三構成員、伊藤構成員、臼田構成員、大井田構成員、片山構成員、加藤構成員、金谷構成員、河合構成員、菊池構成員、熊谷構成員、小井土構成員、内山様（中里構成員代理人）、中島構成員、中山（伸）構成員、西山構成員、前原構成員、三木構成員、山澤様（見澤構成員代理人）、井上WGリーダー、中山（雅）WG副リーダー

(2) オブザーバ

厚生労働省 安中健康危機管理・災害対策室長、厚生労働省曾川災害医療対策専門官、消防庁大石防災情報室係長、森川救急企画室救急専門官、防衛省情報通信課藤沼防衛部員

(3) 総務省

興水政務官、野崎技術政策課長、山口技術政策課企画官、山内宇宙通信政策課長、吉田情報流通高度化推進室長、杵浦電気通信技術システム課課長補佐

4 議事要旨

(1) 総務省挨拶

興水総務大臣政務官による挨拶が行われた。

(2) プレゼンテーション

小井土構成員より資料5-2、石井正三構成員より資料5-3、山澤様（見澤構成員代理人）より資料5-4、電気通信システム課より資料5-5、技術政策課より資料5-6、菊池構成員より資料5-7に基づき、プレゼンテーションが行われた。

(3) 総務省説明

総務省から資料5-8～13に基づき、研究会報告書案について説明が行われた。

(4) 質疑応答及び意見交換

主な発言は次のとおり。

【石井正三構成員】

災害時には医療チームだけでなく、道路の通行止め情報や避難所のトレンドに関する情報も必要になる。また、消防や警察、災害対策本部との横連携も重要。そういった概念やシステムに関して考えをまとめるべき。

【山口技術政策課企画官】

本研究会発足当初は非常用通信手段の保有を主眼としていたが、その後の議論で横連携のためのネットワークの概念も重要ということが分かったため、提言事項に盛り込まれている。

【臼田構成員】

防災科学研究所においても組織間の横連携に関する取り組みを進めている。内閣府のSIPとしてレジリエントな防災・減災機能の強化の取り組みに省庁間での情報共有というテーマで参加している。その過程で分かったことは、情報共有システムというものに急に新しくアクセスするのではなく、ふだんから使っている仕組みの中に情報が入ってくるような流れをつくり込まないと横連携で情報共有が難しい。また、熊本地震では、避難情報同士をマッチングさせることが非常に難しかったという課題があった。

【西山構成員】

高知日赤では衛星電話を県から貸与されているため、装備として持ってはいるものの、通信料金が安くないため普段利用していない。この研究会はサービス料金を検討する場ではないと承知しているが、何とか安価にサービスを提供できるスキームを検討できないか。また、無線とスマートフォンが相互にデータのやりとりを簡単に出来るようなシステムは考えられないか。これらの解がないと、南海トラフ発生時に多くの孤立地域が出来る高知県の市町村にシステムの導入を薦めるのは厳しい。

【内山様(中里構成員代理人)】

サービスの提供料金については、研究会でたびたび取り上げられており、事業者として真摯に取り組んでいかなければならない課題と認識している。現在、技術革新などにより安価なサービスが提供できないかを検討しているところであり、しばらくお時間をいただきたい。

【伊藤構成員】

前回提示させていただいた月10万円以下のサービス料金は、医療関係のユーザーのために専用の帯域を設け、それをユーザーでシェアする仕組みにおいて、採算ギリギリの提示である。一層の安価なサービスの提供ということであれば、技術革新によるコストの低廉をお待ちいただきたい。

【石井正三構成員】

災害医療は保険診療と異なる。JMAT活動において実費弁済が認められているように、通信に要する費用は実費弁済の概念を取り入れるべきではないか。

また、常総市水害発災時に、病院全体が撤収となり、その対応に追われて電話がとれないという事態が生じた。情報通信はインフラとして必要だが、情報が過剰になると現場がフリーズすることがあることが分かり、そういった事例を人的能力強化のための研修において情報提供する必要性を感じた。

【西山構成員】

現在提示いただいている料金水準では、こんないいシステムがあるとの報告しか出来ない。

【加藤構成員】

この報告書は誰に向けての提言となり、提言後どのようなフォローがあるのか。

【山口技術政策課企画官】

この提言書は研究会から総務大臣へ提言され、総務省や厚労省から自治体に周知していく。例えば、研究開発課題は、NICTや大学の課題設定時に参考にして頂くことになる。

【小井土構成員】

アセスメントシートや標準災害カルテ、J-SPEEDといった情報伝達の標準化が必要だと思うが、報告書において標準化は言及しないのか。

【山口技術政策課企画官】

報告書の38ページの「活動を支える情報システムの在り方」において、標準化やルール化について言及している。記述が足りなければ具体的なご意見があれば盛り込むようにしたい。

【金谷構成員】

報告書の概要の14ページに今後の情報伝達体制として、被災者を包み込む形を目指すとあるが、個別に開発したシステムの共通的な情報基盤の整備主体や費用負担が課題になる。また、扱うデータによっては個人情報等に関わる可能性もあり、法的に整理すべき課題をどうしていくのか。

【山口技術政策課企画官】

ご指摘の通り、ポンチ絵の裏には何十、何百という情報システム、それに関わる各機関の業務フロー、権限、予算がある。研究会内では全てを調整できないので、まずは研究会として方向性の共通認識を持った上で、例えばSIPの研究といった形で、関連省庁が連携しながら取りすすめていきたいと考えている。

【中島構成員】

SIPで現在取りすすめており、臼田構成員や金谷構成員が参画している災害情報の共有システムは、まさにご指摘の方向で検討が進められている。今日の議論を聞き、標準化が大事であり、情報をどれだけ少なく出来るかがキーであり、緊急時にどれだけ情報をこそぎ落とすことが出来るかといった視点で、検討を進める必要があると感じた。

また、本報告書は、熊本地震についてあまり触れられていないように感じるが、熊本地震で得られた新たな教訓を元に、現在の記載内容に対し要不要が生じる可能性があるのではないかと感じる。

【山口技術政策課企画官】

報告書の2, 3章において、熊本地震において何が起きたのかという事実関係を記録

として残しておく価値があると思いますので、構成員の皆様から具体的に生じた実績をいただければ、報告書に適宜取り込んでいきたい。

【石井正三構成員】

被災者の健康情報は非常に重要度の高い個人情報であり、マイナンバーと直接ひも付けをするような扱いは危険であるが、被災者を救うために情報開示は必要であるため、守るべきところしっかり守れるよう慎重な対応をお願いしたい。

【菊池構成員】

マイナンバーに関しては現行法制上防災利用ということが明記されている。

【山口技術政策課企画官】

前回の研究会で石井構成員よりいただいたご意見を元に、報告書の36ページの地域におけるその他の取組の項目に、主語として「市町村長」を明記し、災害発生時に被災者状況の確認等の促進のため個人番号を活用することとの記載にとどめている。

【片山構成員】

本研究会は、通信事業者と災害医療に関わる通信の利用者が様々な議論をする場として非常に良かった。通信ネットワークの限界を通信事業者は明らかにして、そのリスクを利用者の方が把握できるようにすることが提言に書かれているが、今回で終わりではなくて何かそういうものが恒久的かつ継続的にできるような提言にするべき。

【山口技術政策課企画官】

非常用通信協議会や電気通信事業者協会といった既存の場も使いながら、新しい協議会を作るべきかも含め、検討していきたい。

【池田様（三木構成員代理人）】

通信事業者が医療機関の方々と意見交換できる場はこれまであまりなかった。非常通信協議会等の場を使って、今後とも情報交換していきたい。

【河合構成員】

これまで海外の衛星通信会社から輻輳に関する情報等が提示された事はなかったが、

本研究会をきっかけに入手し、提示することが出来た。このような場で、ユーザーとしての懸念を伺い、事業者としての限界を共有するのは大事である。データ通信は、使用する通信量によってコストが大きく変わる。医療機関向けサービスの向上のため、引き続き、必要となる通信量などについて情報を共有できると発展的な議論になる。

【中山（伸）構成員】

この研究会における議論は、衛星を数多く打ち上げればよいというような議論ではなく、災害時使用するデータをどれだけ少なくするかということガイドラインに記載することは大事である。新しいシステムが開発されていく中で、扱うデータ量は膨大になっており、標準化も必要最小限にしないとデータ量は増大するばかりである。

【石井正座長代理】

厚労科研でも避難所のアセスメントについて、RapidAssessmentに絞ったらどうかといった議論をしているところ。

【有賀構成員】

本研究会で議論してきたことは、国家として国民の災害時における健康や生命を守ろうという話が軸にあるはずなので、今後もこの軸をぶらさずに災害医療の通信に関係するメンバーが議論する場を継続していきたい。

以上